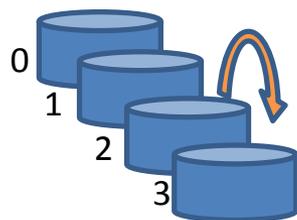
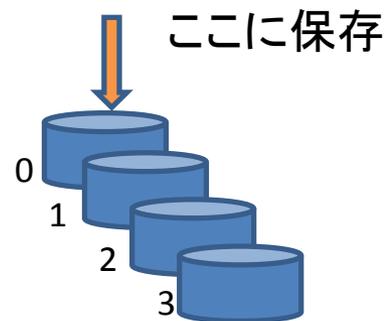
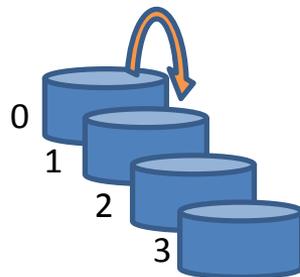
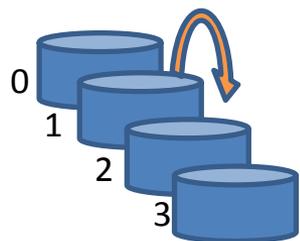


関数double movingAverage(int var)は1つのint型の引数varを持ち、関数の返す値は、現在のvarを含み、最新の4回の呼び出し時に与えられたvarの平均値を返すものとする。

方法1 過去のデータを順に移動して最新データを保存



3つの値を順に移動



4個の値の
合計を求め
平均する

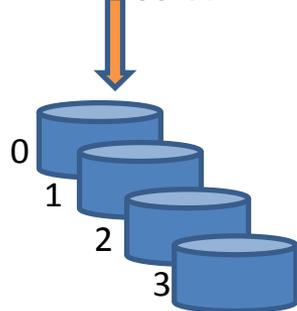
この図は関数が1回呼び出された時の作業を示している

要素4個のstatic配列が必要。
ただし、平均化の個数が多くなったら作業が大変。

関数double movingAverage(int var)は1つのint型の引数varを持ち、関数の返す値は、現在のvarを含み、最新の4回の呼び出し時に与えられたvarの平均値を返すものとする。

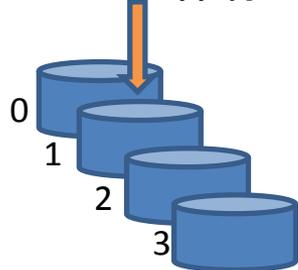
方法2 保存場所を示す変数を利用する

ここに保存



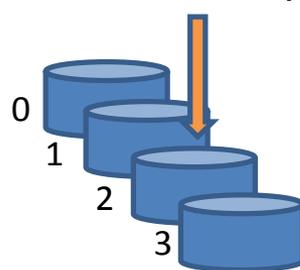
4個の値の
合計を求め
平均する

ここに保存



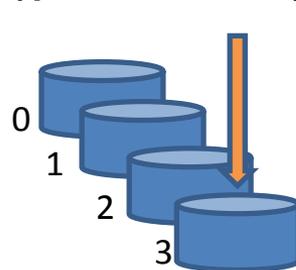
4個の値の
合計を求め
平均する

ここに保存



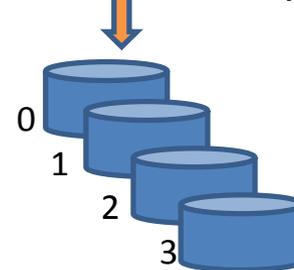
4個の値の
合計を求め
平均する

ここに保存



4個の値の
合計を求め
平均する

ここに保存



4個の値の
合計を求め
平均する

この図は関数が5回呼び出された時の作業を示している

要素4個のstatic配列と

どこ(0~3)に保存するかを示すstatic変数ptrが必要

ptrは0,1,2,3,0,1,2,...のように繰り返す。